

おいしさと健康



第108期

中間(第2四半期) 報告書

[平成24年4月1日▶平成24年9月30日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念

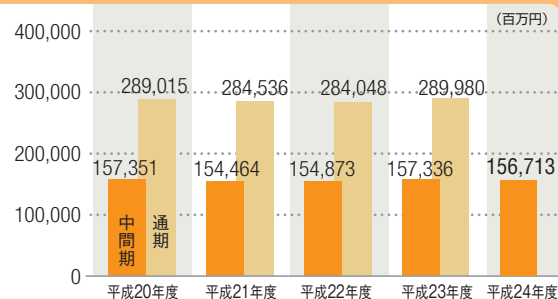
おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の喜びを、
生命の輝きを

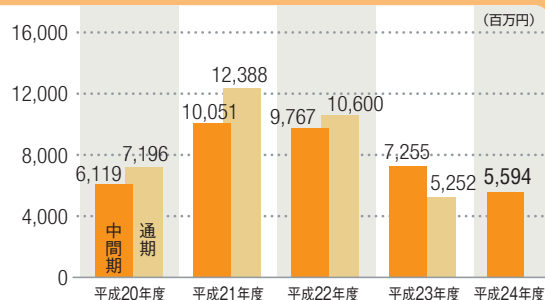
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

財務ハイライト | 連結

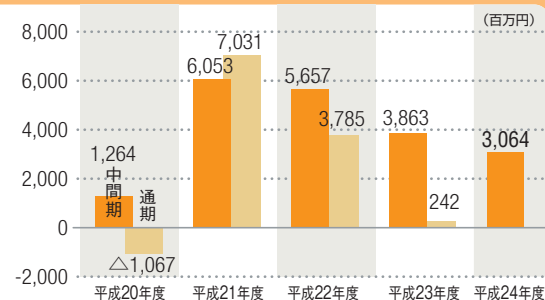
売上高



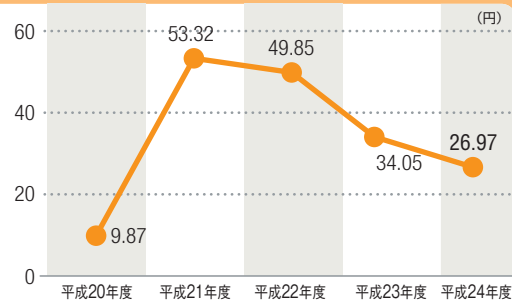
経常利益



四半期純利益



1株当たり 四半期純利益



C O N T E N T S

株主の皆様へ	2
セグメント別の概況(連結)	3
2013年3月期の重点取り組み	5
連結決算の状況	7
トピックス 新製品のご紹介	9
ニュース	13
グリコの歴史シリーズ	14
会社の概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種手続きについて	18

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第108期中間（第2四半期）報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景として回復基調にはあるものの、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性の中、世界経済の下振れや金融資本市場の変動等の影響が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。食品業界におきましても、原材料価格の高止まりや消費者の節約志向の浸透等によって、引き続き厳しい競争が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売を始めとして、市場を盛り上げる販売促進対策、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上高は、牛乳・乳製品部門、畜産加工品部門、食品原料部門が増収となりましたが、菓子部門、冷菓部門及び食品部門は減収となり、全体では156,713百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

利益面につきましては、販売品種構成の変化や原材料価格の上昇等により売上原価率はアップし、量販店店頭での

取締役社長

北崎 勝久



積極的な販売対策を実施したこと等により販売促進費等が増加したため、営業利益は5,188百万円（同26.3%減）、経常利益は5,594百万円（同22.9%減）、四半期純利益は3,064百万円（同20.7%減）となりました。

なお、中間配当金は、5月15日に公表いたしました通り、1株当たり5円といたしました。

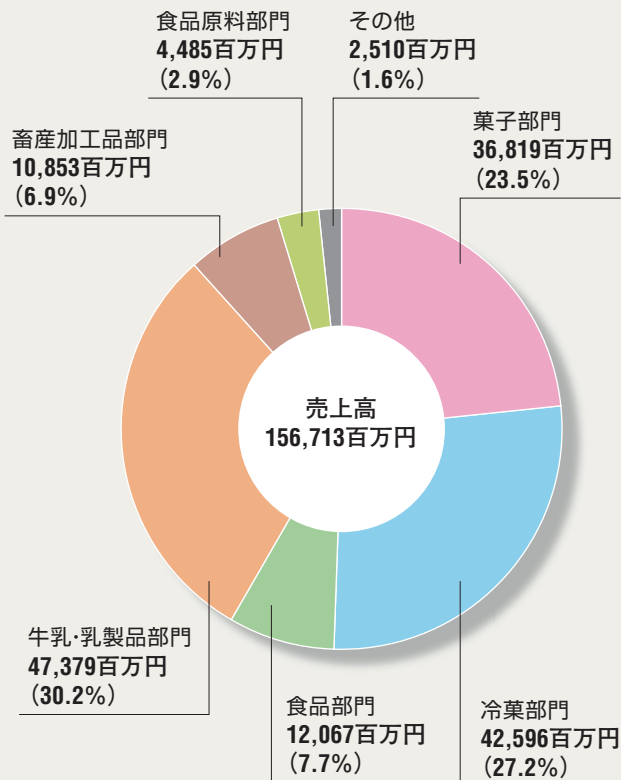
下半期につきましても、国内景気は依然として厳しい状況が続くと見られ、当社グループを取り巻く環境はますます厳しくなるものと予想されますが、グループ企業全社を挙げて業績向上をはかり、株主の皆様のご期待にこたえる所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

セグメント別の概況 連結

●セグメント別売上高とその割合



菓子部門

36,819百万円

前年同期比6.5%の減収



国内では、ビスコ缶が大きく増販した「ビスコグループ」等は前年同期を上回りましたが、「ポッキーグループ」、「キスミントガム」等は前年同期を下回りました。また、海外では、上海の子会社が前年同期を上回りましたが、洪水被害を受けたタイの子会社は前年同期を大きく下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は36,819百万円となり、前年同期(39,359百万円)に比べ6.5%の減収となりました。

冷菓部門

42,596百万円

前年同期比0.3%の減収



“牧場しぼり”、“パピコ”等は前年同期を上回りましたが、“アイスの実”、“バリッテ”、商品回収を行った“ジャイアントコーン”等は前年同期を下回りました。一方、卸売販売子会社2社は、前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42,596百万円となり、前年同期(42,722百万円)に比べ0.3%の減収となりました。

※当社グループは、当期からセグメント別の区分を変更いたしました。

食品部門

12,067百万円
前年同期比4.3%の減収



温めなくても食べられる常備用が好調な“カレー職人”等は前年同期を上回りましたが、“2段熟カレー”、“炒飯の素”等は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,067百万円となり、前年同期(12,614百万円)に比べ4.3%の減収となりました。

畜産加工品部門

10,853百万円
前年同期比8.2%の増収



主力のソーセージは前年並みとなりましたが、ハムやベーコン等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,853百万円となり、前年同期(10,034百万円)に比べ8.2%の増収となりました。

牛乳・乳製品部門

47,379百万円
前年同期比3.4%の増収



“ドロリッチ”等は前年同期を下回りましたが、“カフェオレ”、“朝食プロバイオティクスヨーグルト”等は前年同期を上回りました。また、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上も前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47,379百万円となり、前年同期(45,842百万円)に比べ3.4%の増収となりました。

食品原料部門

4,485百万円
前年同期比1.3%の増収



“A-グル”は前年同期を下回りましたが、“クラスター デキストリン”等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,485百万円となり、前年同期(4,427百万円)に比べ1.3%の増収となりました。

2013年3月期の 重点取り組み

アジアを中心とした「海外事業の拡大」

当社グループが重点課題のひとつとして掲げている海外事業、
とりわけ今後大きな成長が見込まれる
アジアでの取り組みについてご紹介します。



ベトナム

「ポッキー」の本格販売を開始

ベトナム国内に強い販売網をもつキンド社と提携し、当社の主力商品のひとつである「ポッキー」の本格販売を開始しました。今回販売するのは、「ポッキーチョコレート」と「ポッキーストロベリー」の2種類で、どちらも当社の子会社であるタイグリコで生産します。

まず9月25日にベトナム南部の中心都市であるホーチミンで販売を開始。来年1月には首都ハノイでも発売予定で、これら2都市の状況を見ながら、その後、ハイフォン、ダナン、ニャチャン、カントーなどの都市に拡大していく計画です。

さらに、「ブリッツ」をはじめとするその他の商品についても順次販売を検討するなど、ASEAN(※)で3番目に人口が多いベトナムでの菓子事業の拡大を図ります。

※ASEAN:東南アジア諸国連合



ポッキーチョコレート



ポッキーストロベリー



プレスカンファレンスの様子(9月25日ホーチミン)



店頭での販売状況



中国

販売地域の拡大を継続

9月15日に発生した大規模な反日デモにより、一時的にグリコ製品も店頭から撤去される状況が発生しましたが、10月の国慶節明けには、ほぼ元の状況に戻り、販売への影響は軽微でした。また、デモ発生時、従業員とその家族の安全を最優先した結果、人的被害もありませんでした。

中国では、グリコ製品の開拓余地のある地域を重点エリアに設定し、そのエリアを中心に販売地域の拡大に取り組んでいます。現在のところ、販売額では計画を上回る実績で推移しており、今後も取り組みを継続します。

● 中国における重点エリア



タイ

主力品の生産を再開

タイでは、昨年10月に発生した洪水からの復旧に取り組んできました。4月には被災を免れたランシット工場にポッキープラントを導入し、5月後半にはバンコクなどの首都圏を中心に販売を再開することができました。

また、洪水の被害にあったバンカディ工場でも、7月にブリッツ、9月にポッキー、10月にコロンと主力品の生産を順次再開。洪水対策として、工場の周囲に全長9kmにおよぶ防水堤も設置されました。



バンカディ工場の
周囲に設置された
防水堤

生産の再開とともに、ポッキーを中心に強力なマーケティング活動を進めており、販売状況も洪水前の水準にまで回復しています。

ポッキー豆知識 グリコの主力菓子ブランドである「ポッキー」。海外では1970年代に日本からの輸出を開始しました。

その後、1972年にタイ、1982年にフランス、1999年に中国で製造販売を開始し、現在では世界約30カ国で販売しています。

連結決算の状況

■ 四半期(中間)連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)
[資産の部]		
I 流動資産	93,502	103,333
現金及び預金	16,598	22,667
受取手形及び売掛金	34,230	38,641
有価証券	17,511	18,810
商品及び製品	7,951	8,003
仕掛品	771	919
原材料及び貯蔵品	10,701	9,216
その他	6,008	5,428
貸倒引当金	△272	△354
II 固定資産	113,790	113,239
(有形固定資産)	67,183	69,310
建物及び構築物	24,557	24,014
機械装置及び運搬具	22,353	22,427
土地	15,517	15,520
その他	4,754	7,347
(無形固定資産)	4,173	3,689
ソフトウェア	3,742	3,155
その他	430	533
(投資その他の資産)	42,433	40,240
投資有価証券	32,473	29,256
その他	10,089	11,198
貸倒引当金	△130	△214
資産合計	207,292	216,573

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)
[負債の部]		
I 流動負債	68,637	77,641
支払手形及び買掛金	30,030	36,050
短期借入金	9,050	9,271
未払費用	20,601	21,276
未払法人税等	965	1,585
販売促進引当金	1,537	1,575
役員賞与引当金	51	—
事業構造改善引当金	376	98
その他	6,025	7,783
II 固定負債	31,300	30,314
長期借入金	15,391	15,099
退職給付引当金	10,570	10,096
事業構造改善引当金	620	357
その他	4,718	4,761
負債合計	99,938	107,955
[純資産の部]		
I 株主資本	107,473	109,487
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,434	7,437
利益剰余金	118,886	120,815
自己株式	△26,620	△26,539
II その他の包括利益累計額	△2,409	△2,819
その他有価証券評価差額金	△249	△933
繰延ヘッジ損益	△204	△123
為替換算調整勘定	△1,955	△1,761
Ⅲ少数株主持分	2,291	1,949
純資産合計	107,354	108,617
負債純資産合計	207,292	216,573

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期(中間)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (23.4.1～23.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (24.4.1～24.9.30)
I 売上高	157,336	156,713
II 売上原価	89,099	89,395
売上総利益	68,237	67,317
III 販売費及び一般管理費	61,198	62,129
営業利益	7,039	5,188
IV 営業外収益	1,155	1,177
V 営業外費用	939	771
経常利益	7,255	5,594
VI 特別利益	3	23
VII 特別損失	687	1,462
税金等調整前四半期純利益	6,572	4,154
法人税、住民税及び事業税	2,804	1,856
法人税等調整額	△277	△406
法人税等合計	2,526	1,450
少数株主損益調整前四半期純利益	4,045	2,704
少数株主利益又は少数株主損失(△)	182	△360
四半期純利益	3,863	3,064

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期(中間)連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (23.4.1～23.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (24.4.1～24.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,364	12,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,250	△3,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313	△1,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	100
現金及び現金同等物の増減額	6,712	7,639
現金及び現金同等物の期首残高	28,400	32,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,112	40,050

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

菓子

菓子部門

ちょっと贅沢なひととき

【ビット】

〈オリジナルショコラ〉

ココアクリームをココアビスキュイでサンドし、さらにチョコレートでコーティング。濃厚さと上品さを兼ね備えた、ちょっぴり贅沢なおいしさに仕上げました。上質な味わいで「メリハリ・こだわり消費層」を取り込み、日常の中でのプレシャスなひとときを提供します。



クラッツの技術で焼き上げた ポテト系おつまみスナック

【ポテトクラッツ】〈うましお〉

【クラッツ】〈ペッパーベーコン〉〈チーズ〉

カリッと香ばしい食感と濃厚な旨みでお酒のおいしさが引き立つおつまみスナックシリーズに、噛むたびにポテトの旨味が楽しめる「ポテトクラッツ」が新登場しました。ポテトたっぷりの生地アーモンドをミックスしており、味や食感の変化が楽しめます。



ドウゾ!パピコでおともだち

【パピコ】

〈桃のスムージー〉〈苺のスムージー〉
〈チョココーヒー〉

通年商品の〈チョココーヒー〉に加え、2品を期間限定商品として新発売します。〈桃のスムージー〉は華やかな風味の白桃に甘みのある黄桃をブレンド、〈苺のスムージー〉はラズベリーをブレンドし、苺果肉を加えています。

※〈桃のスムージー〉は2012年11月12日発売、
〈苺のスムージー〉は2012年12月10日発売です。



期間
限定



期間
限定



洋菓子のレーズンサンドが アイスになりました!

【ムーンウィッチ】

〈レーズンサンド〉

しっとりバタークッキーに、レーズン入りアイスをサンドしました。お茶菓子にも、お酒のおつまみにもなる可愛いサイズのサンドアイスで、大人向け市場を活性化。小分けに便利な個包装で8個入りです。



食 品

食品部門

心も身体もあたたまる 具だくさん ぞうすい

【ほっとstock 7種野菜の具だくさんぞうすい】
〈和風だし〉〈キムチ風〉

寒い季節に冷えた身体をあたためてくれる生姜や唐辛子などが入ったあったか雑炊。大きくカットされた野菜が入っているので、積極的に野菜を摂りたい働く女性にもぴったりです。一製品あたり200kcal未満なので、カロリーが気になる方にも安心です。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

シャキシャキりんごとヨーグルトを ワン手で味わう

【ストローで食べる朝食りんご&ヨーグルト】

シャキシャキの角切りりんごに、ふんわり食感のヨーグルトを組み合わせた、ストローで食べる新感覚のヨーグルトです。りんごとヨーグルトそれぞれが際立つ味わいと、飲むヨーグルトにはないしっかりとした食べごたえをぜひお試しください。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

なめらかなホイップクリームで デザート感アップ!

【ドロリッチ クリーミーカフェゼリー】

従来のクリームをホイップクリームに変更しました。グリコ独自の製法で、ホイップクリームがカフェゼリーを包みこむようなおいしさを実現。今までにないデザートに生まれ変わったドロリッチをお楽しみください。



畜産加工品等

グリコハム株式会社

お得で便利! しかも環境に優しい 新しいパックのロースハム

【エコ分けパック ロースハム】 〈152g(76g×2パック)〉

真ん中のミシン目で16枚入りを簡単に2回に分けて使い、1枚1枚をはがしやすいガスパックで包装しました。売場に多く見られる4連パックに比べ、プラスチック容器の重量を約14%削減しています(当社比)。



作り立てのお菓子を購入できる「ぐりこ・や Kitchen」がオープン!

2012年4月14日、東京駅一番街「東京おかしランド」内に「ぐりこ・や Kitchen」がオープンしました。

「ぐりこ・や」は、ショップ限定のオリジナル商品を販売する店舗で、2001年からサービスエリアや駅、空港、観光拠点などで展開しています。17店舗目となる今回は、帰省・出張者が多く、土産菓子の需要が高い東京駅に出店しました。

「ぐりこ・や Kitchen」は、「ぐりこ・や」では初のお菓子を作る設備を備えており、「アーモンドチョコレート」などができる過程をガラス越しに見学し、作りたてのお菓子を購入いただけます。

お客様にさらにわくわくしていただける新しいタイプの店舗で、当社の魅力をより一層、伝えてまいります。



ここでしか手に入らない限定商品などを販売

お菓子の工場見学施設「グリコピア・イースト」がオープン!

1988年、神戸で始めた工場と企業ミュージアムが合体した「ユニークな工場見学施設」グリコピアが、関東にも2012年10月にオープンしました。

おなじみのポッキーやブリッツの製造工程を間近で見られるだけでなく、最新鋭の機械で作られた商品が、皆様のお手元に届くまでを分かりやすく説明します。また、「チョコレートができるまで」を映像で紹介。チョコレートについての知識も楽しく学習できます。

「グリコピア・イースト」では、グリコの歴史やおもちゃの展示を通して、皆様とのコミュニケーションを深めたいと考えています。「わくわくできる工場見学施設 グリコピア・イースト」で楽しいひとときをお過ごしください。



(上)「ポッキー」や「ブリッツ」の生産ラインが目の前に

(左)「カレッジホール」では「チョコレートができるまで」を上映



見学および入館にはご予約が必要です

- 電話でのご予約・お問い合わせ：TEL 048-593-8811
- 受付時間：9:30～16:30
(休館日：毎週金曜日・お盆休み・年末年始)

※お電話は混み合っていて、つながらない場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願いします。

その他、詳細はホームページでご確認ください
<http://www.glico.co.jp/glicopia/east/>

発売40周年「プッチンプリン」の歴史

「家庭でもプリンを簡単にお皿にのせられる」——
新しい発想で、国民的プリンの先駆けとなりました。

プリンを身近に食べられるものに

1970年当時、プリン是一般のお店では売られておらず、町のケーキ屋さんで購入するか、プリンの素を使って家庭で作るのが主流でした。「子どもたちに手軽においしいプリンを食べさせたい」と考えた開発担当者は、ある時、町のパーラーで、器の底に穴を開けてデザートを盛り付けている様子を見かけ、プッチンプリンのアイデアを思いつきます。「この方法を使えば“おいしさ”だけでなく“楽しさ”を日本中の子どもたちに届けられる!」と容器開発に着手しますが、完成までの道のりは遠いものでした。さまざまな苦難の末、プッチン棒がうまく折れる方法を偶然発見するといった幸運にも恵まれ、ようやく満足のいく容器が完成し、発売に至ります。

1972

発売当時のプッチンプリン。発売後すぐに売れたわけではなく、プリン本体の改良や、業界初のテレビCMの投入が、爆発的なヒットにつながりました。



1990

「プッチンプリン3個パック」と「Bigプッチンプリン」の登場

1980年代後半に入ると、新たな小売業態としてスーパーマーケットやコンビニエンスストアが増加します。このような時代の変化を受け、スーパーマーケット向けにサイズを小さくし、まとめ買いにも対応できる商品として開発したのが、「プッチンプリン3個パック」でした。

一方、「通常サイズよりも、もっと多く食べたい人もいます」という発想から生まれたのが「Bigプッチンプリン」です。当時、店舗数を伸ばしていたコンビニエンスストアの中心的な利用層であった男性のお客様の支持を受け、「Bigプッチンプリン」は発売直後から商品供給が間に合わないほどの人気商品となりました。

1993



会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
創立年月日 大正11年2月11日
資 本 金 7,773,681,654円
営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
従 業 員 数 5,028名(連結)
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8352

●北海道・東北統括支店
〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話(022)717-2821

●関東統括支店
〒370-0828
群馬県高崎市宮元町38番10号
電話(027)330-1914

●首都圏統括支店
〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目16番23号
電話(03)3798-0717
- 中部統括支店
〒461-0022
名古屋市東区東大曽根町22番28号
電話(052)919-0714

●近畿統括支店
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話(06)6477-8470

●中国統括支店
〒732-0816
広島市南区比治山本町16番35号
電話(082)250-4111

●九州統括支店
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号
電話(092)474-0331

主な関係会社

仙台グリコ株式会社
茨城グリコ株式会社
グリコ千葉アイスクリーム株式会社
関東グリコ株式会社
三重グリコ株式会社
関西グリコ株式会社
神戸グリコ株式会社
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
鳥取グリコ株式会社
九州グリコ株式会社
江栄情報システム株式会社
株式会社グリコ物流サービス
東北フローズン株式会社
関西フローズン株式会社
THAI GLICO CO., LTD.
EZAKI GLICO USA CORP.
上海江崎格力高食品有限公司
上海江崎格力高南拳食品有限公司
グリコ乳業株式会社
グリコハム株式会社
グリコ栄養食品株式会社
アイクレオ株式会社

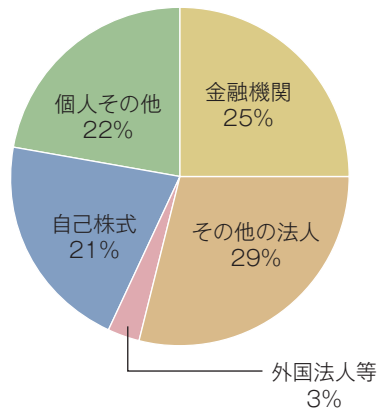
役員

代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	益田 哲生	監査役(常勤)	芝池 正明
取締役	中川 宗和	取締役	加藤 隆俊	監査役	倉持 治夫
取締役	江崎 悦朗	取締役	梅崎 信彦	監査役	岩井 伸太郎
取締役	安積 正裕			監査役	宮本 又郎
取締役	栗木 隆				

株式の状況

会社が発行する株式の総数 470,000,000株
発行済株式総数 144,860,138株
株主数 14,492名

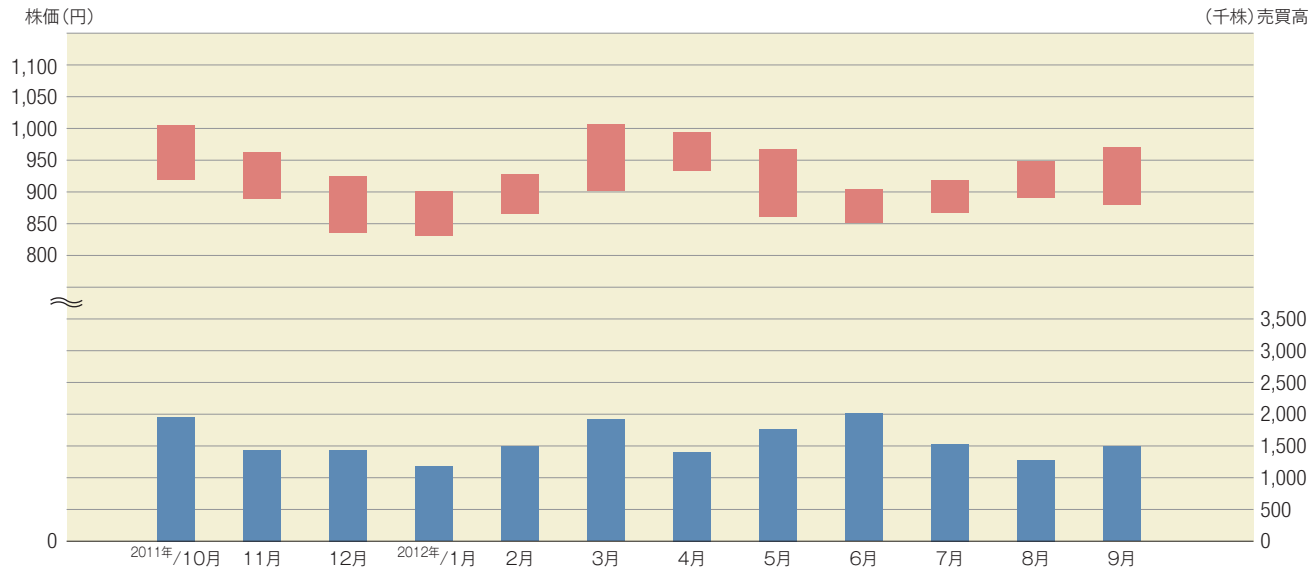
所有者別株式数比率



大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	8,263
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品ホールディングス株式会社	7,000
江崎正道	6,721
佐賀県経済農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,006
江崎グリコ共栄会	2,706
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,111

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 **0120-176-417**

※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

 **0120-782-031**

インターネット ホームページURL

[http://www.smtb.jp/personal/
agency/index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://www.glico.co.jp>)

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000~
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000~
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例

株券電子化後の各種手続きについて

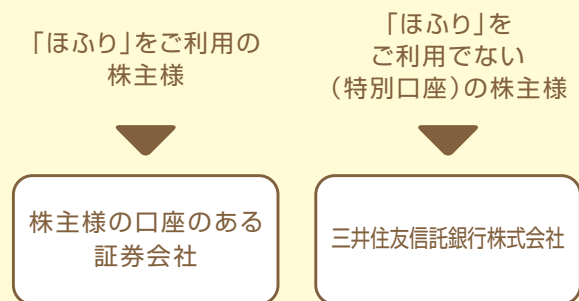
2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の单元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。

お届け先・ご照会先



※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にお願いいたします。

3 1,000株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1单元(1,000株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて1,000株となるように株式をお売りする、もしくは1,000株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>